

第115期 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

株主の皆様へ



(重要文化財 ヨドコウ迎賓館)

YODOGAWA STEEL WORKS
Steel sheet / Building material / Exterior / Roll / Grating

株式会社 淀川製鋼所

証券コード5451

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 当社の第115期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の事業の内容につきまして
 ご報告申し上げます。

平成26年6月



代表取締役会長

國保 善次

「新しい個性を持った価値の創造を基本理念に、社会から信頼され、必要とされる企業を目指します。」



代表取締役社長

河本 隆明

「安全・安心・環境・景観をキーワードに、社会・自然環境と調和し、共生する企業を目指します。」

国内事業の基盤強化を図るとともに、 海外事業の飛躍に向けて、 グループの総力を挙げて取り組んでいきます



代表取締役社長 河本 隆明

府の金融政策および財政出動にともなう円高は正と株式相場の回復をきっかけに、個人消費や設備投資の回復が見られました。また、消費税率の引き上げを前に駆け込み需要による消費の拡大もみられました。

Q 当期（2013年度）の市場環境は
いかがでしたか？

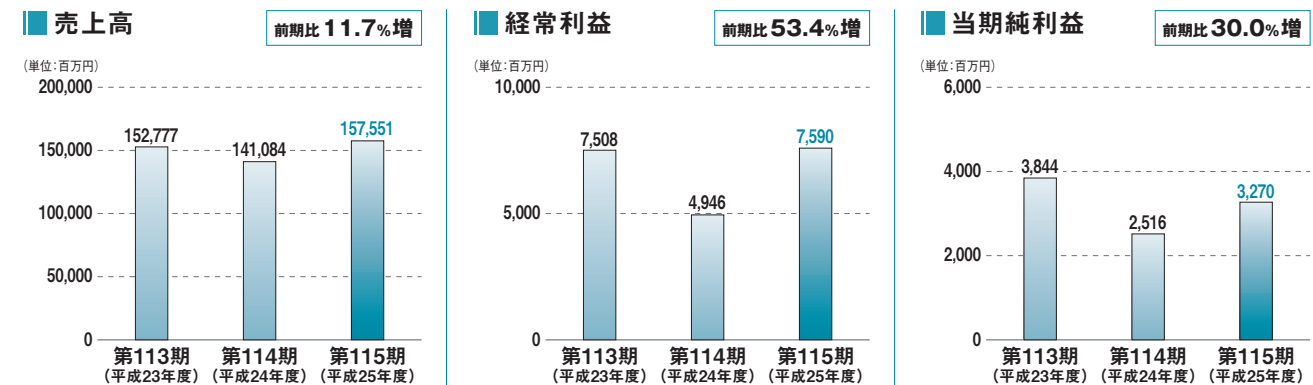
A 個人消費や設備投資が
ようやく改善の兆し

ここ数年にわたり、鉄鋼業界は原材料価格の高止まりに加え、価格競争の激化から収益の確保が難しい状況が続いてきました。特に海外メーカーとの競争は供給過剰を背景に激しさを増しています。

こうした環境の中、当期はアベノミクスに象徴される政

連結業績の推移

（注）金額は単位未満を切り捨てています。



Q 当期の業績について教えてください

A 積極的な販売と地道なコストダウンで増収増益

当社グループは「自主自立」の精神を発揮しつつ、機動力のある生産・販売体制を活かして、引き続き積極的な販売と地道なコストダウンに努めました。加えて、国内需要が回復傾向にある中で、原材料やエネルギーコストの上昇を吸収すべく、鋼板関連商品の価格改定についてお客様のご理解を得るべく努めてきました。

こうした取り組みの結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高が1,575億51百万円（前期比164億67百万円増）、営業利益が61億22百万円（同24億92百万円増）、経常利益が75億90百万円（同26億43百万円増）、当期純利益が32億70百万円（同7億54百万円増）となりました。

なお、2013年7月の市川工場における冷間圧延機の火災事故では、皆様に大変なご迷惑とご心配をかけたことを、あらためてお詫びいたします。復旧に際しては各方面から多大なご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。事故後、設備の早期復旧を果たすとともに、回復傾向にある需要に的確に対応するため、生産と販売の拡大に取り組みました。火災による損失については、9億48百万円を特別損失として計上した一方、受取保険金として9億14百万円を特別利益に計上しています。

Q 当期のセグメント別の取り組みについて教えてください

A 主力の鋼板関連事業が国内需要を取り込み好調

鋼板関連事業では、鋼板業務および建材業務ともに増収となりました。鋼板業務においては、為替の円高傾向が是正されたことから、安価輸入材との価格競争が一段落となった上、需要の回復にともないめっき商品の販売量が増加しました。建材業務については、ルーフの販売量が増加し、建材商品は増収となりました。

反面、職人不足による建設工事の遅れの影響を受け、工事部門は減収となっています。エクステリア商品は前期に東北の震災被災地において仮設住宅向けの特需があった反動で、物置の販売量は減少したものの、短工期やコストパフォーマンスの良さなどが評価されガレージや倉庫などの大型商品が好調に推移し、3月末にかけて消費税率の引き上げ前の駆け込み需要もあったことから、エクステリア全体では増収を達成することができました。

ロール事業については、国内・輸出ともに価格競争が厳しく、一部商品で販売が伸びているものの、業績に貢献できる状況には至っていません。

グレーチング事業については、民間物件を中心に提案営業に努めたほか、集中豪雨対応型や高耐食型などの高機能商品の販売が伸びた結果、増収となりました。

Q 海外事業の現状と取り組みはいかがでしょうか？

A 中国およびタイの工場がいよいよ本格稼働へ

国内における営業基盤のさらなる強化とともに、海外事業の戦略的な展開もまた重要な経営課題ととらえています。



淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司 開業式典

2013年6月には、中国の子会社である淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司(YSS社)が稼働を開始しました。「中国社会・市場から必要とされるメーカーを目指す」を経営理念に掲げ、中国における表面処理鋼板の生産・販売拠点を担っていく計画です。



YSS社 連続式溶融めっき設備

今後、高品質な物作りを通じて、家電メーカー向けプレコート鋼板をはじめとする付加価値の高い商品を提供していくことで、中国の巨大市場を開拓していきます。

また、タイにおいては、2013年2月にPCM PROCESSING (THAILAND) LTD. (PPT社)の連続式塗装設備が稼働を開始しました。家電メーカー向けに高品質なプレコート鋼板の供給に努めるとともに、タイを含めた近隣諸国への販売強化を図っていきます。



PPT社 連続式塗装設備

Q 当期のトピックスをお聞かせください

A 泉大津工場にメガソーラーを設置して売電を開始

当社は従来、環境に配慮した商品の開発に注力するとともに、省エネルギー活動など環境負荷の少ない経営を追求してきました。

その一環として、2013年9月に大阪府の泉大津工場の遊休地に大規模な太陽光発電(メガソーラー)システムを設置し、再生可能エネルギーの買取制度に基づく売電を開始しました。設置した発電パネルの枚数は4,200枚に及び、年間の発電量は約1,200MWhを見込んでいます。

Q 今期（2014年度）の市場展望についてお聞かせください

A 需要は回復基調にあるものの、損益面は厳しさが続く見通し

今期、世界経済は米国が着実に回復しつつある一方、欧州においてクリミア半島における地域紛争など予断を許さない状況にあります。また、中国ではいわゆる「影の銀行」の問題が顕在化する恐れがあり、こちらも不透明な状況となっています。こうした状況から海外の鉄鋼市場は、米国が比較的好調に推移すると思われるのに対

して、最大の生産国である中国は弱含みの情勢です。日本国内に目を転じると、経済は引き続き回復基調が続くものと思われます。反面、当社の主原材料である熱延鋼板や副原材料の亜鉛などの価格が上昇傾向にある一方、中国の供給過剰を背景に鉄鋼二次製品の輸入鋼材との価格競争は続いています。このため、価格は正は慎重に進めてゆく必要があり、メタルスプレッド（原材料と商品の価格差）については厳しい状況が続くことが予想されます。なお、消費税率の引き上げにともなう駆け込み需要の反動が懸念されるものの、鉄鋼業界において影響は限定的とらえています。

NEWS

ヨド物置「新型エルモ」発売決定

ヨドコウ中・大型物置「エルモ」をモデルチェンジいたします。職人不足が問題となっているなか、組立時間を約4割短縮(当社比)するとともに、荷物を持ったまま肘で操作が可能な仮ロック機能を追加。さらに床板の強度が約30%アップしました。

カラー展開もよりスタイリッシュに!



Q 今期（2014年度）の取り組みについて、どのようにお考えですか?

A 海外事業を軌道に乗せ、アジアの需要の獲得をめざす

国内事業については、商品力およびサービス力のさらなる向上を図りつつ、鋼板関連商品の販売価格の改定について、お客様のご理解を得られるように努めていきます。また、企画力・総合力をこれまで以上に発揮し、特長ある商品を提案してまいります。特に「安全」「安心」「環境」「景観」をキーワードにした商品の強化を進めています。たとえば、地震発生時の自動解錠装置付の防災倉庫は、首都直下型地震や南海トラフ地震などの発生が懸念される中で、地域を守る防災拠点などさまざまな活用につながることで好評を博しています。

エクステリア分野の主力商品であるヨド物置「エルモ」については、2014年7月にフルモデルチェンジを予定しています。新型「エルモ」は好評なデザインと機能のさらなる充実に加えて、組立て時間を大幅に短縮できるように改良を加えました。人手不足が問題になっている中、施工店様や販売店様、そしてエンドユーザー様にとって利便性の高い商品をお届けできるものと考えています。

海外事業につきましては、YSS社およびPPT社の安定操業を一日も早く実現し、事業を軌道に乗せることを今期の重要課題ととらえています。加えて、台湾の子会社盛餘股份有限公司(SYSCO社)を含めて、グループ間で人事交流や情報交換を密に行い、アジアの需要を戦略的に取り込んでいく考えです。

株主の皆様に対する利益還元については、言うまでもなく最重要課題の一つであり、その方策としては、自己株式の取得ならびに配当金のお支払い等を想定しております。配当につきましては、業績に応じた配当のお支払いを安定的かつ継続的に行うことを基本方針としており、連結配当性向は年間30%~50%程度を目標としております。



Q 最後に今後の抱負についてお聞かせください

A 創立80周年に向けて、経営課題への取り組みを加速

当社は2015年1月に創立80周年を迎えます。この栄えある記念の年を迎えるにあたり、皆様のご期待に応えられるように、企画力および総合力をさらに発揮して、国内外の経営課題にグループ一丸となって積極的に取り組み、企業価値の拡大を図ってまいります。

つきましては、株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

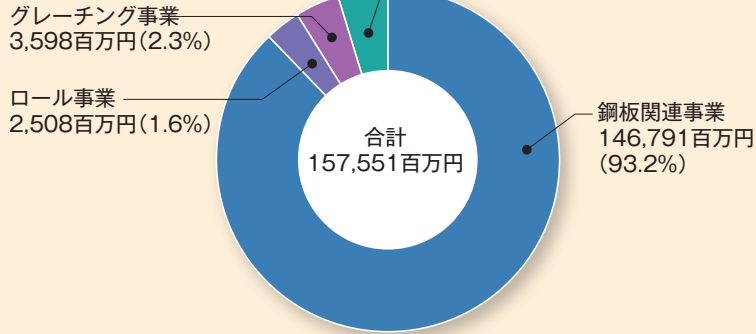
売上高 157,551百万円
(前期比11.7%増)

営業利益 6,122百万円
(前期比68.7%増)

経常利益 7,590百万円
(前期比53.4%増)

当期純利益 3,270百万円
(前期比30.0%増)

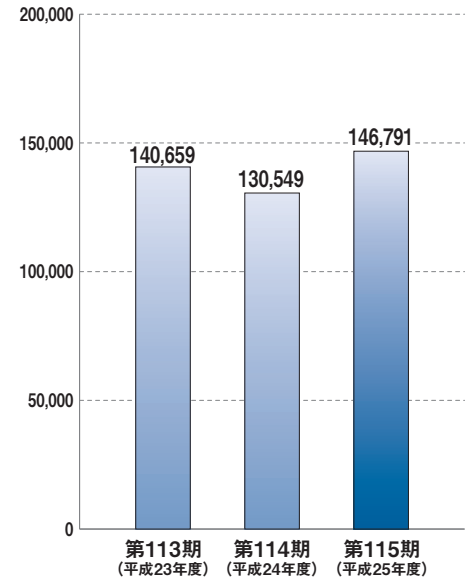
売上高構成比



鋼板関連事業

146,791百万円
(前期比12.4%増)

売上高推移 (単位:百万円)



鋼板業務

- ▶ めっき鋼板は、内需回復や円安による輸入材の影響減により増加
- ▶ カラー鋼板は、家電・建材向けとも好調に推移
- ▶ 国内一般流通向けは、地域密着営業が実り増加

建材業務

- ▶ 建材商品は、ルーフの販売量増により増収
- ▶ エクステリア商品は、ガレージ・倉庫など大型商品が好調
- ▶ 防災関連商品は、地震解錠装置や可動間仕切り付防災倉庫などが好評
- ▶ 工事グループは、物流倉庫・ショッピングセンターなどの大型物件を完工



淀川盛餘 (合肥) 高科技鋼板有限公司



防災倉庫 ヨド蔵MD

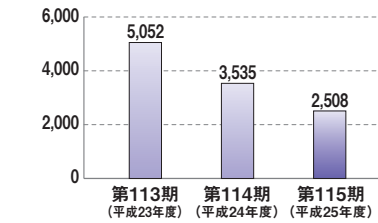
今後の取り組み

- (鋼板業務)**
- ・高付加価値商品の拡販と収益改善に努めます
 - ・中国YSS社・タイPPT社ともに安定生産と現地需要家との関係強化に努めます
- (建材業務)**
- ・防災意識の高まりに対応すべく、関連商品拡販に注力します
 - ・増加が予想される東北および関東での需要の捕捉に努めます

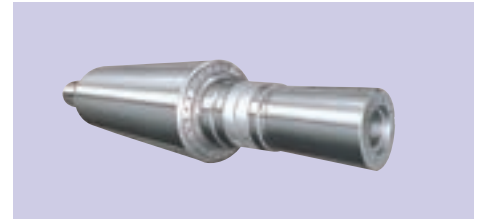
ロール事業

2,508百万円
(前期比29.0%減)

売上高推移 (単位:百万円)



- ▶ 鉄鋼向けは、国内外とも熾烈な価格競争による厳しい状況が続く
- ▶ 非鉄向けは、自動車用タイヤ製造設備向けのゴム用ドリルドロールの販売が堅調



ドリルドロール

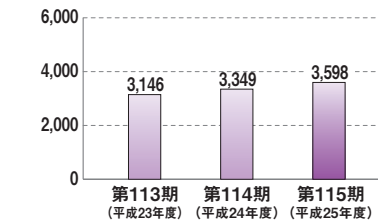
今後の取り組み

顧客との協力関係を強化し、拡販に努めます

グレーチング事業

3,598百万円
(前期比7.4%増)

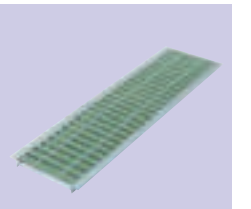
売上高推移 (単位:百万円)



- ▶ 重点顧客への営業強化と川下営業による物件獲得により増収
- ▶ 継続的な設計PRや各種展示会への出展の効果により高機能商品の販売増
- ▶ 東北の漁港復興工事で「さびガードグレーチング」の継続採用



ヨドグレーチング さびガード



ヨドクリスタルグレーチング

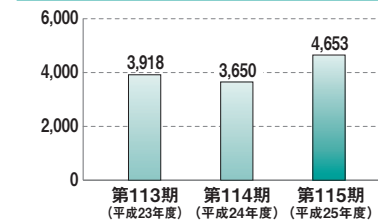
今後の取り組み

引き続き設計PRを通じた高機能商品の拡販に努めます

不動産事業・その他事業

4,653百万円
(前期比27.5%増)

売上高推移 (単位:百万円)



- ▶ 不動産事業は、賃貸用不動産の効率運用に努めたものの、減収
- ▶ その他事業は、運輸・倉庫業が増収
- ▶ 泉大津工場内に設置した太陽光発電システムによる売電を開始



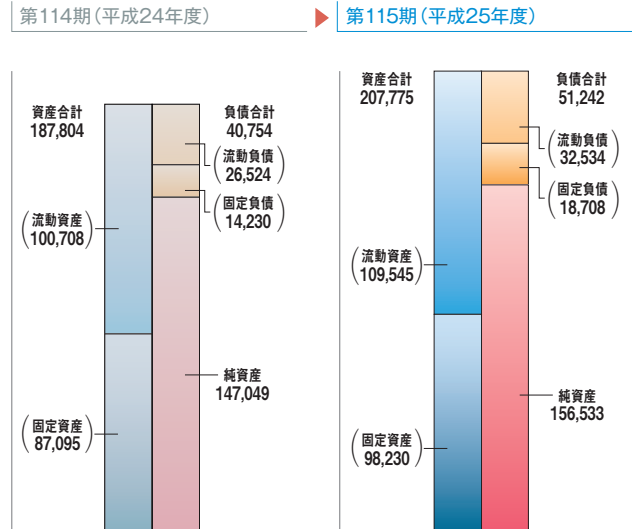
泉大津工場 太陽光発電システム

今後の取り組み

現在、福井・大阪等、他の工場においても太陽光発電システムの設置を進めております

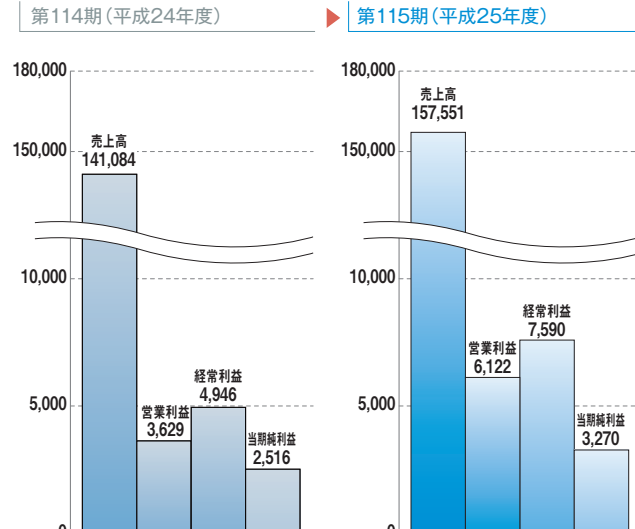
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



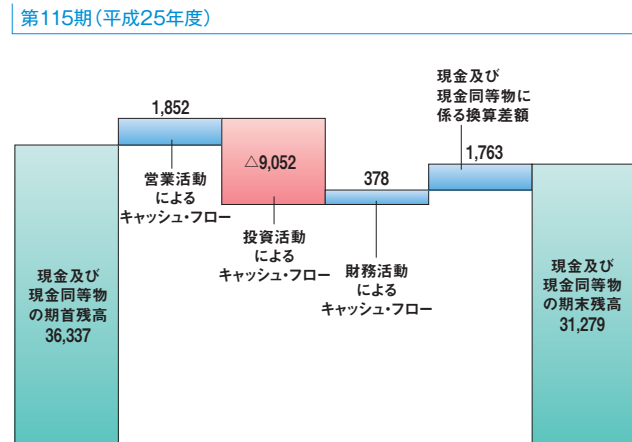
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



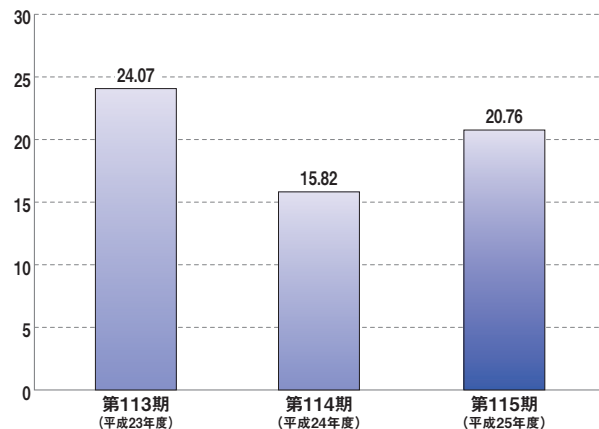
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益(連結)

(単位:円)



(平成26年3月31日現在)

当社の概要

社名 株式会社淀川製鋼所
 設立 昭和10年1月30日
 資本金 23,220,815,228円
 従業員数 1,223名

当社の主な事業所

本社 〒541-0054
 大阪市中央区南本町四丁目1番1号
 06-6245-1111
 支社 〒104-0041
 東京都中央区新富一丁目3番7号
 03-3551-1171
 営業所 札幌、盛岡、仙台統括、新潟、長野、高崎、東京統括、横浜、静岡、北陸、名古屋統括、大阪統括、神戸、岡山、福山、広島、高松統括、高知、八幡、福岡統括、鹿児島、沖縄
 工場 大阪(大阪府)、呉(広島県)、市川(千葉県)、福井(福井県)、泉大津(大阪府)

当社の主な関係会社

- 連結子会社
 - 高田鋼材工業株式会社 鋼板の加工および販売
 - 盛餘股份有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - 白洋産業株式会社 鉄鋼卸業、運送業
 - 京葉鐵鋼埠頭株式会社 倉庫業
 - ヨドコウ興発株式会社 ゴルフ場等経営および不動産賃貸
 - 淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - PCM PROCESSING (THAILAND) LTD. カラー鋼板の製造、加工および販売
- 持分法適用関連会社
 - 株式会社佐渡島 鉄鋼卸業

当社の役員 [平成26年6月25日現在]

取締役	執行役員
代表取締役会長	國保 善次
代表取締役社長	河本 隆明
取締役	専務執行役員 西村 修
取締役	常務執行役員 大森 豊実
取締役	常務執行役員 林 眞生
取締役	石田 榮次
	常務執行役員 大森 眞
	上席執行役員 鉄橋 彰
	上席執行役員 二田 哲
	執行役員 渡辺 隆昌
	執行役員 服部 格
	執行役員 中野要一郎
	執行役員 河本 善博
	執行役員 隈元 稔夫

※石田榮次氏は会社法に定める社外取締役です。

監査役	
監査役(常勤)	境口 勝己
監査役(常勤)	森岡 司郎
監査役	湯浅 光章
監査役	宇津呂 修

※湯浅光章および宇津呂修の両氏は会社法に定める社外監査役です。

株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 ※当社ホームページをご覧ください。 http://www.yodoko.co.jp/

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

証券会社の口座に記録されている株式		特別口座に記録されている株式	
お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	お手続き・ご照会の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・氏名などの変更 ●配当金の受領方法・振込先の変更 	口座を開設されている証券会社	<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・氏名などの変更 ●配当金の受領方法・振込先の変更 	特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物の発送・返戻に関するご照会 ●未払い配当金に関するご照会(※) ●その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物の発送・返戻に関するご照会 ●未払い配当金に関するご照会(※) ●その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(※)未払い配当金のお支払いについては、株式会社みずほ銀行本店および各支店でもお取り扱いいたします。

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話…………… 0120-288-324 (フリーダイヤル)
インターネット…………… <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>
郵送物送付先…………… 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

スチール! & アイデア! ヨドコウ

〒541-0054
大阪市中央区南本町四丁目1番1号
TEL.(06)6245-1111 (大代表)
<http://www.yodoko.co.jp/>



重要文化財

ヨドコウ迎賓館のご案内

旧山邑家住宅



フランク・ロイド・ライト 設計

開館ご案内

開館日・水・土・日曜日と祝日
開館時間・10時～16時(入館は15時30分まで)
入館料・大人・大学生/500円 団体/400円(30名以上)
小・中・高校生/200円 団体/100円(30名以上)

お問い合わせ

淀川製鋼所 広報課 06-6245-9103
ヨドコウ迎賓館 0797-38-1720
<http://www.yodoko.co.jp/geihinkan/>

